
道標

綉芭葵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

道標

【Zマーク】

N4781P

【作者名】

綾芭葵

【あらすじ】

青い空がきれいな日には、何か意味がある気がします。

遠い空の先にね、白い白い、雲が見えるの。

青い、青い空の先に、ひとすじの光が見えるの。
君や、あなたや、僕や、私が、
いつか、いつか離れ離れになつても、

あの雲と、あのひとすじの光だけは、

離れ離れにならないで

ずっとここにいてくれるんだ。

もじこの先、私たちが旅に出で、
道に迷つたとしたら。

もう一度この場所に戻つてくればいい。

道がわからないなんて言わないで、

あの雲とあのひとすじの光は
どの道にいたとしても、見つけなれるよひみに浮かんでるんだか
ら。

そして、しほりの場所で待つていたりい。

そうしたらすぐに君が、あなたが、僕が、私が、
この場所に戻ってくるから。

そうして、もう一度歩き出したらいい。

迷つたってかまわない。

迷つたら、戻ればいい。

皆の所に戻ればいい。

遠い空の先にね、白い白い雲が見えるの。

青い、青い空の先に、ひとすじの光が見えるの。

それは淡くてはかない光。
力強くてはかない光。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4781p/>

道標

2010年12月13日20時03分発行